

平成26年10月22日

「身近な自然や環境保全について学ぼう！」

～小学生と協働で植物の希少種を移植します～

1. 概要

三重河川国道事務所において工事を進めている国道23号中勢バイパスにおいては、有識者の指導のもと、自然環境に配慮しながら事業を推進しており、その一環として、津・鈴鹿工区において、「三重県レッドリスト(2014年版)」に掲載されている希少な植物を道路工事の影響範囲外に移植します。

このたび、津市立黒田小学校4年生の児童と一緒に希少植物の移植を実施することになりました。移植体験を通して、身近なところに貴重な動植物が存在していることや、自然環境に配慮しながら道路を整備していることについて、理解を深めていただきます。

- 日時 平成26年10月30日(木) 8:30～12:00(予定)
※雨天の場合は平成26年11月5日に延期
- 参加者 津市立黒田小学校4年生(19名)の児童の皆様
- 場所 津・鈴鹿工区周辺(資料1参照)
- 配布先 三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ
津市政記者クラブ
- 解禁 指定なし
- 資料 別紙
- 問い合わせ先 国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所
副所長 廣瀬 昌俊
電話 059-229-2211 FAX 059-229-2229
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>

●実施箇所



●実施内容

○植物の移植

・移植対象種

コバノカモメヅル(ガガイモ科)
 <三重県:絶滅危惧Ⅱ類>

・内容

植物の専門家の指導のもと、小学生自らが生育する個体を掘り取り、工事影響範囲外へ移植。



<コバノカモメヅル>

○動物を題材とした体験学習

・内容

周辺の里山に生息する動物を題材とした体験学習を通じて、食物連鎖などを学習。



<タヌキ>

報道関係の皆様へ

駐車位置は以下の2箇所です。なお、希少種保護の観点から、植物の生育場所及び移植場所を特定しないような報道をしていただきますようお願いいたします。

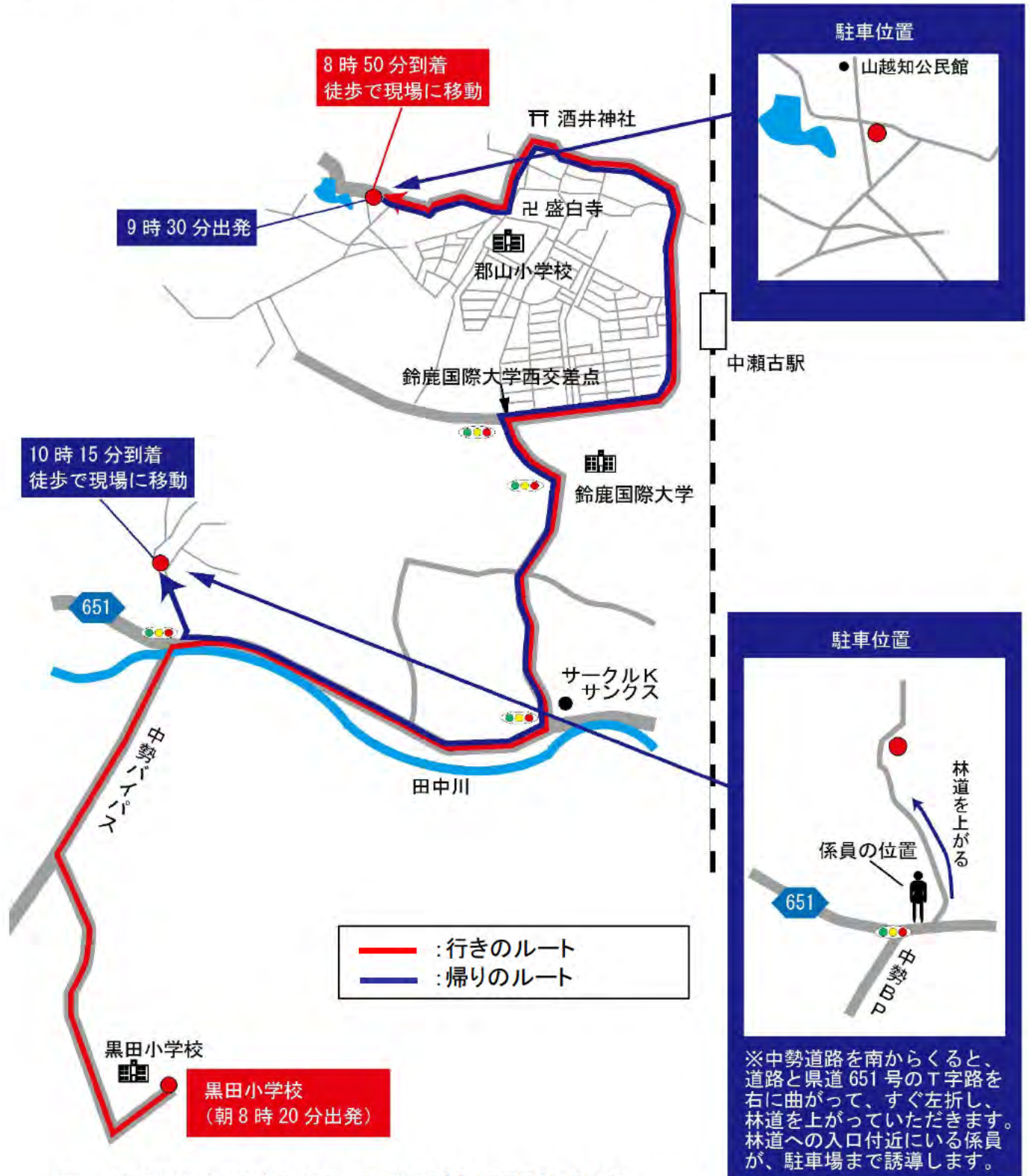


図 小学生との協働による移植の実施行程